

オーダーメイド型研修計画の手引き

スライド及び関連資料

□オーダーメイド型による指導員研修について	1
□Web等の双方向通信(オンライン)を活用した研修について	2
□通信活用研修の概要	3
□特別な配慮を要する受講者対応に向けた研修マップ	4
□オーダーメイド型による指導員研修 よくあるご質問	5
□おすすめのオーダーメイド型研修	6
□オーダーメイド型研修に対する受講者のコメント	7

関連資料

- ・オーダーメイド型研修のコース一覧(全100コース) 8
- ・オーダーメイド型研修カリキュラム事例集
- ・【都道府県施設】オーダーメイド型研修の実施までの流れ
- ・【機構施設】オーダーメイド型研修の実施までの流れ



R5.10月版

オーダーメイド型による指導員研修について

研修受講機会の拡充と施設の一体的な職業訓練実施上の課題解決に向けて、都道府県及び機構施設からの要請に基づき、職業大と研修計画(研修カリキュラムや研修日程等)を検討の上、現地に職業大から講師が赴いて行う研修です。※研修実施の流れは「オーダーメイド型研修モデルカリキュラム集」の後ろページをご覧ください。

1 受講対象者

- ☞ 職業訓練において訓練指導を担当している方又は担当しようとする方
- ☞ 職業訓練指導員免許を取得している方
- ☞ 訓練生の就職指導・支援を担当している方
- ☞ その他都道府県担当者や機構能力開発施設長が受講を指示した職業訓練に携わる職員(聴講となる場合があります。)
- ☞ 認定職業訓練施設、委託訓練及び求職者支援訓練実施機関の指導者及び業務上受講が必要な方 等

2 開催要件

- ☞ 最少開催人数は、原則として**10名**です。(人数の確保が難しい場合は、別途ご相談ください。)
- ☞ 事前又は事後課題に取り組むことにより、**集合研修(オンラインを含む)を総訓練時間の20%以上(=最低3時間)で実施する通信活用型**での実施も可能です。対応可能なコースについては、お気軽にご相談ください。詳細については2~3ページをご覧ください。
- ☞ 研修日程は連続日を原則としますが、業務の都合に応じた日程の調整には応じますのでご相談ください。

3 研修会場の準備及び経費等

- ☞ 研修会場、使用機器(プロジェクタ、PC、白板等)、研修環境及び備品については、開催会場でご準備をお願いします。
- ☞ 研修に係る経費は、職業大が負担(テキストや受講生の旅費等を除く。)しますので、受講料は無料です。ただし、民間教育訓練機関等の方は、受講料として実費分のご負担(概ね6千円程度)をお願いします。

1

Web等の双方向通信（オンライン）を活用した研修について

Web等の双方向通信（以下「オンライン」）研修が可能となりました。ただし、訓練効果等の観点からコース毎に講師と調整が必要な場合があります。

1 オンライン研修

- ☞ 対面型で実施していた研修⇒全日程又は一部の日程をライブ形式で実施可能
- ☞ 通信活用型で実施していた研修⇒通信型研修(課題又はオンデマンド)+ライブ形式の集合研修で実施可能

2 対象コース

- ☞ 指導方法及び専門学科のうち、対面授業に相当する訓練効果(質の担保)が認められると講師が判断したコース

3 訓練時間

- ☞ 12時間以上
- ☞ 通信活用型の集合研修をライブ形式で行う場合、集合研修の時間を総訓練時間の20%以上とすることができます。

用語の説明

- ☞ **オンライン** : Web等の双方向通信を活用した研修の総称。
- ☞ **オンデマンド** : 通信活用研修の課題方式の一種。Webに課題を保管しており、いつでも繰り返し受講できます。
- ☞ **ライブ** : 対面の代わりにWeb等を活用した集合研修。移動を伴わずに研修を受講できます。

2

通信活用研修の概要（詳細は個別コース毎に調整）

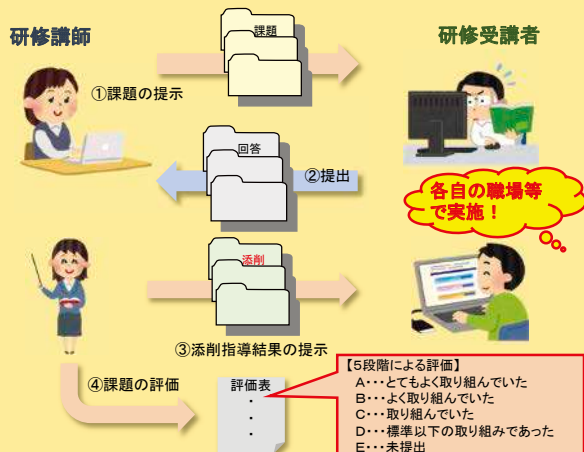
通信活用研修は、メール等の通信手段による通信研修と集合研修（オンライン含む）を組み合わせた研修の仕組みです。

事前又は事後に課題取組む形式により、集合研修を**総訓練時間の20%以上**として研修の設定ができます。ただし、全ての研修が通信活用に対応しているわけではありません。

通信研修

課題：概ね3題以上
時間：総訓練時間－集合研修時間

メール等の通信手段により集合研修の事前又は事後に課題を実施



- ※1 課題や添削指導結果は、職業大研修課から都道府県能開主管課、機構施設等を回付して研修受講者の元に届けられます。
- ※2 通信活用研修を希望される場合は、事前課題への取り組み期間を見込んだ無理のない日程で研修を予定してください。

集合研修（オンライン含む。）

研修時間：総訓練時間の20%以上

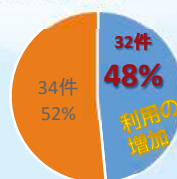
研修会場に集合又はオンラインにより参加し、研修講師から課題のねらいと目的、解説等の外、カリキュラムに沿ったテーマの研修を受講



※研修の到達目標を達成するため集合研修と課題の設定時期や時間を効果的に組み合わせて実施します。

※修了要件：個別通信研修C判定以上、かつ、集合研修全時間出席

通信活用研修（1日研修）の活用状況



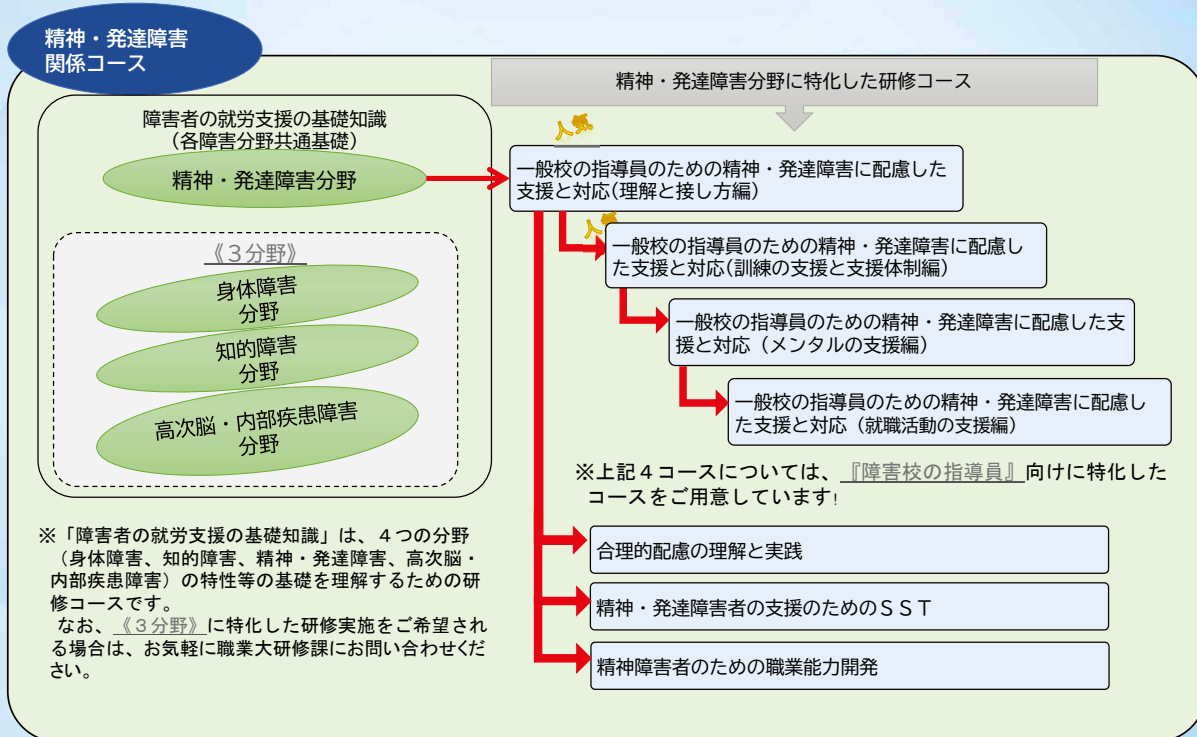
ご相談に応じて様々なコースに対応しています。

※左のグラフは、令和4年8月末現在のオーダーメイド型研修の都道府県・機構施設からの申込件数を参考に作成しています。

■通信活用研修 ■2日間研修

3

特別な配慮を要する受講者対応に向けた研修マップ



4

オーダーメイド型による指導員研修 よくあるご質問【Q&A】

Q1 研修期間は1日に短縮できませんか？

A 指導員研修は、職業能力開発促進法施行規則（別表10）の規定により12時間以上と定められています。ただし、事前又は事後課題（6時間以上）が設定できる研修コースについては、通信活用研修（オンライン研修を含む）により集合研修を1日（3時間以上）で実施することができます。

Q2 オーダーメイド型研修は受講者数10名以上集める必要がありますか？

A オーダーメイド型研修の必要受講者数は、原則として10名以上としています。受講者の確保が困難な場合は、お気軽に職業大研修課にご相談ください。受講者が10名に満たない場合など、当該実施施設以外からの受講者の確保、レディメイド型研修の出前型による実施（他の都道府県や機構施設から募集）など弾力的な対応を検討させていただきます。

Q3 研修期間は連続する2日間であればいけませんか？

A 研修の効果のため連続する2日間での開催を原則としていますが、ご要望に応じて一定期間（例：1週間から1ヶ月（最大））の間を開けての開催、土曜日や日曜日等の開催など弾力的開催も担当講師と研修の効果をお案し実施となります。お気軽に職業大研修課にご相談ください。

Q4 就職支援担当者や事務職員などの職員は受講できませんか？

A 都道府県又は機構の職業能力開発施設長が受講を指示した職業訓練に携わる職員は、受講が可能です。ただし、機構能開施設においては、指導員以外の職員が受講する場合は、聴講者の取扱いとなりますが、受講証明書の必要な方は交付いたします。

Q5 通信活用研修を実施すると研修担当の手続きや仕事が煩雑になりませんか？

A 課題の受講者への取組の指示、解答された課題の回収などの期限付き業務が発生しますが、できるだけご担当者の仕事が煩雑にならないように余裕を持つように工夫し進捗管理に努めます。通信活用研修は、個別指導やきめ細かな対応による、WITHコロナを踏まえた研修方式でもありますので、お手数をお掛けしますが、効果的な研修の実施に向けてご協力をお願いします。

Q6 通信活用研修での実施を検討しているのですが、どのような研修コースでも対応できますか？

A 対応可能な研修はカリキュラム事例集に記載していますのでご参照してください。その他の研修コースについても、担当講師と協議し研修の効果を勘案の上、集合研修の時間や課題の方法等、実施可能か調整しますので、職業大研修課までお気軽にご相談ください。

Q7 オーダーメイド型研修マップやカリキュラム事例集に掲載されていない研修コースも実施可能ですか？

A 希望する研修がオーダーメイド型研修マップ等に掲載されていない場合は、オーダーメイド型研修の希望調査票の「希望する研修コース・テーマ」欄に仮称を記入いただき、「その他の要望」欄に研修に盛り込みたい内容を記載してください。

5

おすすめのオーダーメイド型研修

順位	過去5年間でご依頼の多いオーダーメイド型研修 ベスト10 ※令和元年度～5年度8月末現在	件数
1	訓練教材作成等における著作権（トラブル防止のための勘所）	40
2	オンライン訓練のための動画作成と配信技術	29
3	オンライン訓練の設計と運用のポイント	28
4	一般校の指導員のための精神・発達障害に配慮した支援と対応（理解と接し方編） ※通信活用研修では「特別な配慮が必要な訓練受講者の理解と接し方」の名称	22
5	精神障害者・発達障害者を対象とした訓練指導	18
6	職業訓練指導員のための就職支援テクニック	17
7	訓練生や学生のモチベーションアップのための承認スキルの向上	16
8	学卒者/離職者訓練の効果的な募集活動	14
9	広報における魅力的なチラシと人の集め方	13
9	訓練現場のトラブルやクレーム等に備えるリスクマネジメント	13

新たにご用意した研修

新規コース

生成系AIを活用した訓練サービス業務の効率化とポイント

見える化の基本と実践

レジリエンスを高める研修

品質管理の基礎

施設の魅力を発信するためのマーケティング戦略
-リサーチ力・提案力・発信力-

精神・発達障害と似た行動をする訓練生への支援I（理解と接し方）

生産管理の問題解決

注目の研修

最近の新設コースで、開講実績あり

ストレスマネジメントとエニアグラムタイプ

訓練生のための生産性向上手法による問題解決テクニック

指導員のためのセルフ・リーダーシップ～自己改革の勇気づけ～

オンラインによる面接技法

業務改善のためのコミュニケーション力向上研修

訓練生の生活指導

職業訓練DX化のためのデータ活用

ワークライフバランス研修（仕事を効率的に行うヒントを身につける）

※表中の値は、令和元年度～5年度オーダーメイド型研修の都道府県・機構施設からの申込件数を参考に作成しています。

6

オーダーメイド型研修に対する受講者のコメント（アンケートの結果を抜粋）

訓練教材作成等における著作権（トラブル防止のための勘所）

※R5アンケートより

日々の業務に直結し、日頃から疑問や不安に感じているところについて、情報共有と共通認識が得られたから

実践されている弁理士の方が講師で、説得力がある。また、過去の事例等に興味が引かれた。

もやもやしたものが、はっきりとした

今後は、資料や法文を見ながらであれば著作権を考慮できると感じたため

訓練生や学生のモチベーションアップのための承認スキルの向上

※R5アンケートより

内容が盛りだくさんでしたが時間が不足していると思われました

訓練現場にかなり近い手法を学ぶことが出来たと思います

多岐に渡る関連したお話も面白くもっと知りたく、早く実践したくなりました

実践に近い具体例や経験談を聞くことが出来た為、指導に応用する上でとても参考となった

広報における魅力的なチラシと人の集め方

※R5アンケートより

ペルソナを描いて、広報することの重要性和チラシ等作成する時のレイアウト等自己流で行っていたが、こういう視点で行うとよいと教えて頂き、非常に勉強になりました

ポイントごとにわかりやすく指導いただいで良かったです。忘れないうちに使ってみます。

ペルソナを考えながらチラシを作る必要があることを学ぶことができ、勉強になりました

時間がもっと欲しい。もっと学びたいと思いました。

ストレスマネジメントとエニアグラムタイプ

※R5アンケートより

ストレスコントロールの具体的な方法が知れた点

エニアグラムの内容を多めにして貰えたら良かったなと思いました

それぞれを高めるためにそのタイプを尊重し、今後も良好な人間関係を築いていきたいと感じました

グループワークにおける、チーム編成をタイプを考慮して実施する。上司、先輩、同僚、後輩への接し方を考える。

指導員のためのセルフ・リーダーシップ

※R5アンケートより

アドラー心理学は以前より少し学んでいたのですが、振り返りができ、とても有意義な時間でした。定期的に資料を見返したいと思います

アドラー心理学に基づいた勇気づけの演習により自己理解が進み、自身に対する新たな気づきがあった。さらに、学生指導に大いに活用できる。

グループワークを通して、物事の多角的な見方の気づきが得られた

アドラーの心理学を学ぶことができた。特に「怒り」に関しては、以前受講したアングーマネジメントとの共通点があり、わかりやすかった。

ワークライフバランス研修

※R5アンケートより

今までは仕事と生活を切り離して考えていたが、両方を改善していくと相乗効果で両方も好循環していくという考え方は新鮮だった

若手、ベテラン含めて全体で受講することで共有でき今後は楽しみます

「変化の時代」、若い世代を迎えつつも、再雇用等で高齢化する私達の職場。「ワークライフバランス」も、ともに学び、チームで理解し、活用する貴重な機会となった。

リスト化（可視化）の重要性、幸せの4つの因子等、たくさんのことを知れました

※表中のコメントは、研修直後のアンケートを用いて作成しています。

7

オーダーメイド研修のコース一覧（全100コース）

訓練の過程	No	オーダーメイド研修	研修の目的（施設の課題対応）				
			入所・入校時	修了時	受講中	④組織（チーム）力の強化	
			①定員充足率の向上	②就職率の向上	③受講者対応・サービスの向上		
訓練計画	1	カリキュラムの作り方			○	○	
	2	学習目標分析による訓練内容設計法				○	
	3	クラウドコンピューティング基礎				○	
	4	クラウドコンピューティング利用技術				○	
	5	訓練展開上の課題解決			○	○	
	6	在職者訓練コース企画法（職務能力分析に基づくコース企画）				○	
	7	授業評価の実践方法				○	
	8	使える教材開発技法（教材設計の勘所と教材画像づくり）			○		
	9	職業訓練DX化のためのデータ利活用	NEW!		○	○	
	10	オンライン訓練の設計と運用ポイント	人気			○	
	11	オンライン訓練のための動画作成と配信技術	人気		○		
	12	タブレットを活用した訓練指導法	人気		○		
訓練	13	指導員のための文書作成力	NEW!		○		
	14	授業技術向上のためのプレゼンテーション			○		
	15	指導員のための講義プレゼン資料のブラッシュアップ			○		
	16	オンラインによるプレゼン資料の作成技法	NEW!		○		
	17	オンラインホワイトボードを活用したグループワーク	NEW!		○		
	18	発表会等に向けた学生等への論文作成指導法			○		
	19	訓練教材作成等における著作権（トラブル防止のための勘所）	人気			○	
	20	指導員のための技術者倫理	NEW!		○		
	21	指導スキル向上研修			○		
	22	職業訓練指導員のための技能指導法実践			○		
	23	訓練指導のための技能・技術伝承				○	
	24	見える化の基本と実践	NEW!		○	○	
	25	生産現場で活用するリーダーシップ手法				○	
	26	指導員に必要なリーダーシップ				○	
	27	指導員のためのセルフ・リーダーシップ ー自己変革の勇気づけー				○	
	28	指導員のためのリーダーシップ ー訓練生への効果的な関わりー			○		
	29	指導員のためのリーダーシップ ー効果的にクラスを運営するためのプロジェクトマネジメントの視点ー			○		
	30	指導員のためのモチベーションアップ			○	○	
	実	31	訓練生や学生のモチベーションアップのための承認スキルの向上	人気		○	
32		学生募集活動の再構築		○			
33		学校／訓練説明会において学生／求職者の関心を集める プレゼンテーションテクニック	人気	○			
34		学卒者／離職者訓練の効果的な募集活動	人気	○			
35		広報における魅力的なチラシと人の集め方	人気	○			
36		魅力あるオープンキャンパスのプランニング		○			
37		とりあえず行ってみたくなるイベントの作り方		○		○	
38		学生の応募者拡大に向けた顧客分析と営業スキル		○			
39		学校開拓のための実践営業研修		○			
40		企業や学校訪問時に役立つ論理的コミュニケーション		○			
41		訓練現場のトラブルやクレーム等に備えるリスクマネジメントと説明会等のプレゼンテクニック		○		○	
施		42	エニアグラムを活用したコミュニケーション				○
		43	自己理解によるコミュニケーション向上（エゴグラム編）			○	○
		44	学生の能動性を養うコミュニケーション技法 （訓練生への事実と結果の効果的なフィードバック）	人気		○	
		45	学生や保護者からの意見・要望への適切な対応				○
		46	クレーム対応の基礎知識	人気			○
	47	怒りのマネジメント研修	人気		○		
	48	訓練現場のメンタルヘルス				○	
	49	ハラスメントとメンタルヘルス	人気			○	
	50	訓練現場のハラスメント対策 ～アカハラ加害者・被害者にならないために～			○	○	
	51	指導員のためのメンタルヘルスケアと組織的な危機 （自殺・惨事）対応	人気		○	○	

訓練の過程	No	オーダーメイド研修	研修の目的（施設の課題対応）			
			入所・入校時	修了時	受講中	④組織（チーム）力の強化
			①定員充足率の向上	②就職率の向上	③受講者対応・サービスの向上	
訓	52	ストレスマネジメントとマインドフルネス				○
	53	ストレスマネジメントとエニアグラム				○
	54	訓練生の生活指導			○	
	55	訓練生のキャリア自律を促す研修			○	
	56	訓練生のための生産性向上手法による問題解決テクニック			○	
	57	指導員のためのコンプライアンスリーダーシップと怒りのコントロール			○	
	58	訓練施設おける個人情報管理と情報セキュリティ				○
	59	危険予知とリスクアセスメント職業訓練現場の危険を見破る眼			○	
	60	リスク発見のための訓練現場巡視				○
	61	労働安全衛生マネジメントシステムとのISO規格の構築（ISO45001）				○
練	62	指導員のための危険感受性の養成（KYTと危険体感訓練）			○	
	63	安全な工具の扱い方			○	
	64	生産管理の問題解決			○	
	65	品質管理の基礎			○	
	66	職業訓練指導員のための就職支援テクニック		○		
	67	ジョブ・カードを活用したキャリア形成支援		○		
	68	キャリア支援におけるティーチング・コーチング・カウンセリングスキルの使い分け		○		
	69	就職支援におけるグループワークを用いたコミュニケーション訓練		○		
	70	キャリアコーチング支援技法		○		
	71	受講者の面接指導に役立つプレゼンテーション指導法		○		
管	72	オンラインによる面接技法		○		
	73	障害者職業訓練コーディネーター研修				○
	74	カウンセリングの実際（基礎編）			○	○
	75	引きこもり支援と発達障害及びLDへの理解と対応			○	
	76	特別な配慮が必要な訓練受講者の理解と接し方			○	
	77	特別な配慮が必要な訓練受講者への組織的な対応			○	○
	78	一般校の指導員のための精神・発達障害に配慮した支援と対応（理解と接し方編）／（訓練の支援と支援体制編）			○	○
	79	一般校の指導員のための精神・発達障害に配慮した支援と対応（メンタルの支援編）／（就職活動の支援編）			○	
	80	認知行動療法による訓練生への対応力向上研修				
	81	合理的配慮の理解と実践			○	○
理	82	精神・発達障害者の支援のためのSST			○	
	83	精神障害者のための職業能力開発			○	
	84	精神障害者・発達障害者を対象とした訓練指導			○	
	85	精神・発達障害と似た行動をする訓練生への支援Ⅰ（理解と接し方）／Ⅱ（訓練の支援と支援体制）			○	
	86	施設の魅力を発信するためのマーケティング戦略 - リサーチ力・提案力・発信力 -	○			○
	87	レジリエンスを高める研修（向上研修）				○
	88	受講者満足度を高める教授技術			○	
	89	顧客満足度の向上につながる交渉技術			○	○
	90	ワークライフバランス研修（仕事を効率的に行うヒントを身につける）				○
	91	水平思考による発想トレーニング				○
訓練改善	92	クレームの激化を防ぐ接客術				○
	93	組織としての接客対応スキルの強化（ビジネスマナーの再チェック）			○	○
	94	訓練現場のトラブルやクレーム等に備えるリスクマネジメント				○
	95	ものづくり企業のためのプランニング			○	
	96	業務効率化に向けたIT技術				○
	97	生成系AIを活用した訓練サービス業務の効率化とポイント			○	○
	98	ものづくり中小企業におけるOJTを前提とした人材育成				○
	99	円滑な訓練や施設運営に必要なファシリテーション力				○
	100	ファシリテーション力向上研修				○

※1 通信活用研修（1日集合研修）やオンライン形式の研修についてもご相談に応じて対応しております。
 ※2 上記コースに記載されていない研修についてもご相談に応じて実施しております。